

吟道月報

NO. 6

48. 1. 5

頤心会

新春を迎えて

松井岳洋

頤心会の皆さん、お元気に新年を迎えられ、おめでとうござります。

年頭に当り、まず以ってご一同のご多幸と吟道のご発展を心からお祈り申し上げます。

一九七〇年代の十年間は私にとって人生最後の吟道の生涯と決し七十一年初頭、四十余年の世の有為転変にもめげず折角吟じ続けて来た吟の道に最後の仕上げをしたいものと一日一日を初心に立ちかえり自分なりに充実した吟の歩みを悔なく進みたいと決意してこゝに三年目を迎えたのです。か顧みて反省することのみ多く、いっこうに前進していないのに深く愧ずるのですが、今年こそは皆さんと共に、吾皆さんに励まされて寸歩にりともし、私なりの吟道と人間の完成をめざして進んで行きたいものと思つて居ります。どうぞ今年もよろしくお願ひ致します。重畳て皆

さんのご多幸とご発展をお祈り申し上げます。

新春によせて

根岸晃岳

明けましておめでとうございます。

会員の皆さんがお家族ともども辛多い新年を迎えられたことお慶び申し上げます。十六年前のたつた一粒の種子が今や二百五十人という大きな会に発展することが出来ましたのは、会の運営が何時も人の和をモットーにしており、会員の皆さんがこの意を心として会の運営に協力していただいた賜でもあります。

人間がいくら強がりであっても、しよせん弱いそして淋しがり屋なのです。お互が詩の心を解し趣味を通して助け合い、励まし合つてこそ楽しい生活が出来るものと思ひます。

幸い今年から松井先生がお忙がしい中をさいて、オニ木旺白の逗子教場の指導を担当して載くことになりましたので楽しく詩吟の勉強をしてまいりたいと思ひます。最後に私の座右の銘「修身和入し、本年もよろしく。

年頭のことば

会長 三井雲岳

日本の津々浦々に吟声高らかにこだまし陽光燦然たる昭和四十八年の新春を迎え誠にめでたうござります。

伝統美の粹を歌った詩歌を朝に夕に吟じ心身共に健かにこの一年を又皆様共々大いに頑張りたいと思ひます。年頭既に皆様それそれ一年の計を立て期するところありと思われず。私もこの一年カーパイの声を出し、全身を振り絞って吟じ采り吟じ去り度いと念願するものであります。

おこがましい一言ですが声を出し切ることによりはじめて発声法も自分なりに悟ることが出来、余りも工夫されるものだと思います。健康にも繋がります、自分も感激し、他人をも引きつける吟は、自分なりの声を出し切ることにより可能と思われず。中伝、興伝と進んで来ると始めから充分声を出して練習して来た人にはかなわないようです。この一年を共々高らかにカーパイ吟の道に精進いたします。

頑心会の歩み（三十七—三十八年）

これより先六月二十三日、逗子小学校講堂で市民文芸大会と銘打って現文化協会の前身、市民文化協会主催による才一回文芸大会が開かれた。各種芸能十八団体に交って吟詠剣舞、詩舞が頑心会によつてはじめて市民の前に披露せられた。次いで十月二十七日、才十二回逗子市文化祭には朗吟発表会が単独催され頑心十五名、吟友十一名その他十名で詩舞四題を含め出吟題数四十で最後に松井先生の祝賀詩で小林柴符先生が舞い盛会であった。が不馴れとはじめての事として準備運営に一骨折った。三十八年に入って会員数も二十二名となり、七月七日、逗子小学校講堂で再建六周年記念吟道大会をやつとの思いで開催した。入会間もない人を除き、出吟者は次のとおりであった。内田孝、加藤圭一、田中新泉、小峰順泉、長沢鉄泉、鈴木和泉、井沢朝泉、村田保泉、下条領山、根岸基山、三井玲山、高橋碩山、沼田光山、加藤秀山、板倉竜山、根岸晃風、松井岳洋先生と十七名、賛助吟詠十八名、会長吟詠十一名、招待吟六名で詩舞九題を含め極めて盛會裡に終り全員一同

うらへ

感激の極であつた。

三十八年八月には小坪吟友会と共に吟道連盟の
議会を充足させ市の認可を得て逕子吟道連盟の形
が出来、若干の援助を受けられるようになった。

才十回県大会は五月二十六日横浜で開かれ(参
加団体三十四、会員数一、三八〇名)四名参加し、
詩舞「桜花詞」(小林先生)を高橋、根岸(基山)
が連吟、書懐前篇を根岸先生と三井で連吟した。
大会での顔見ははじめてであつたと思つた。

才十一回県大会は十一月十日、川崎市よみうり
ホールで開かれ内田、田中、加藤独吟三井、高橋
連吟で詩舞「雪工出し」を出した。

県本部関係

一月二十一日(日)初吟会理事會、上大岡平和会館
二月四日(日)吟道講習会逕子図書館ホール、

講習員與伝以上会費無料

二月二十五日(日)逕子図書館ホールにて、

七九、三〇一、ゴ一七、〇〇

県本部主催青少年吟道大会

頑心会より出吟名次の通り

九月十日 須藤 一

太田道灌 石井朝子

楓橋夜泊 矢崎忠次

春夜洛城に笛をさく 渡辺静泉

尔壁山 笠原美山

桜花詞 舞、中村愛風

吟、高橋 章

山中の月 舞、千葉香風

吟、内山俊泉

厩内支部日より

森戸神社奉納初吟会

一月一日午前九時より春光うらら、風もなく、
相模湾に対し二十数名の大合吟とくりかえし、
三十分行つた心気爽快言うことなし、これで三年
目、来年度より大多数の参加を望む。本年は会
長初参加!!!

以上